

兵庫県朝来郡田路クモノシダ採集記

建 部 恵 潤

福田菊市氏(旧姓川中)は昭和10年12月23日朝来郡朝来町(当時山口村)田路瀧谷でクモノシダを採集した。(福田氏ノートによる)ここへは三丹地方を綿密に歩かれた荒木英一氏も行つているが、氏の見からのがれていたようである。福田氏はその後兵庫県博物学会誌、植物趣味に但馬の植物目録や新和見を報告しているが、田路産クモノシダにはふれていない。昭和16年に初めて兵庫県博物学会誌第20号の但馬植物雑誌及び但馬植物目録其3に写真を添えて報告した。ところで標本をどこへも配布しなかつた(福田氏談)ので案外知られず今日に至つたわけである。私は氏の発表当時から知つており一度行つてみたいと思つたのと、近年児玉・瀬戸・中山3氏編近畿地方羊歯植物目録に記載されていないことから、是非現地へ行つて確認したいと考え、稲田又男氏とも話し合つていたが好機がなくそのままになつてた。

9月2日福田氏から10年ぶりに採集を再開するとの幸便に接したので早速クモノシダ採集についてお願いしたところ、わざわざ下調べをして下さり、現在も生育しているから案内しようとの御厚意ある返信を受けた。

福田氏は奥様の御病気で参加不能。私は休日が次々差つかえるので止むなく一人で台風の余波の去らぬ9月18日雨の中を夜に入つて播但線新井の福田氏宅に着いて驚かし恐縮した。12時頃までいろいろ懐旧談や朝来郡の植物についての話に花がさき、但馬の植物はなかなか面白いと思つた。

19日は快晴。8時自転車で出発、途中北垣増治氏が加わられた。橋ヶ谷の入口まで約5 km。ここで自転車をあずけて田路川の丸木橋を渡り山道にかかつた。田路川は播但国境段が峯(1103)から発する円山川の支流で、橋を渡らないで川にそうと段が峯へ行くことができる。橋谷は田路川へ流れ入る溪流である。

山道にかかるとホシダ、フユノハナワラビ、ワラビ、トラノオシダなどがあり、第一の橋を渡つた上の杉林には全長75 cm、葉身50 cmの見事なコタニワタリやオオヒメワラビ、ヒメワラビがある。登るにつれてゲジゲジシダ、イヌガンソク、ゼンマイ、ミゾシダ、シケチシダ、ツヤナシノデ、ジユウモンジシダ、クマワラビ、ヤマイタチシダなどが出てくる。昨日までの雨で水が多く谷が渡れないのが残念である。余程登つたところでリュウモンシダや出来の悪いオオ

ヒメワラビモドキがある。谷川を渡る時、谷へつき出た古木に少量のビロウドシダとチャセンシダが着いていた。この頃からキョウタキシダ、ヌリワラビが多く見られる。2株だけであるが道端にヒロハヤブソテツがあり、その上の岩にはアオネカズラ、トキノキの大木にはオシヤゴツデシダのよく出来たのがたくさん着いていた。何回も谷を渡るが登るにつれてゲジゲジシダ、ジユウモンジシダ、ヌリワラビなどの出来がよくなり、イワガネゼンマイ、オオクジヤクシダ、ヤマヤブソテツがあり、オオバチドメグサ、ハナタデ、キバナアキギリなど秋の草木類の花が見られた。

最後に道が溪流をそれて杉林の中を左手へ登つて行くと、目的の滝が昨日の雨で水量を増し飛沫となつて落下する壮観が見えてきた。滝の手前の炭焼小屋に荷物を置いて目的の岩壁へ行くため山を登つて横から進んだ。このあたりにはタイミンガサの開花が見られた。茂みをぬけると好都合に岩場へ出たので福田氏に教えられよじのぼつて採集した。クモノシダの着生しているのは小部分で、見たところ岩は石灰岩ではない。かなり危険な場所で発育のよくないツルシダがあり、手のとどかない所に数株のハコネシダも見られた。ウチワゴケ、クジヤクシダはこれまで見なかつたものである。

小屋に引返して採集物を整理、昼食を終つたのが2時近く、休む間もなく帰途についた。途中谷川の向うの古木についているヒメノキシノブを探りに行き蘆座の中にカラクサシダが見つかった。丁度新葉の出たところで古い葉と両方が採れて好都合であつた。昨夜カラクサシダの標本を所望された福田氏は大喜びであつた。又ここで1株オシダがあつたのは本日最後の収穫であつた。こうして多年の宿望がかない4時過ぎ福田氏宅へ帰ることができた。

さてクモノシダは全世界に1属2種。北米に *Camptosorus rhizophyllus* (L.) Link があり、クモノシダ *C. sibiricus* Rupr. は東亜特産の植物で支那(河北、山東)、満州、蒙古、アムール、朝鮮、日本(北海道、本州、四国、九州)に広く分布はするが多産のものではない。又石灰岩特有の如く考えられていたが必ずしもそうでないことが明らかにされていて、田路もその一例である。近畿地方羊歯植物目録(1953)によると、和歌山県：高野山、三重県：藤原岳、壬生野、大杉谷、奈良県：柏木・入の波間、洞川、山上 (p.19へ)

(p.41から)

岳、西原・彌山間、大阪府：西野勢村、野槻市、滋賀県：伊吹山、綿向山、鈴ヶ岳、芹谷が確実な産地としてあげられ、京都府、兵庫県は確認されていない。ここに福田氏によつて採集記録されながら長らく近畿のシダ愛好家に知られなかつた田路のクモノスシダを再確認できたことは福田氏の御厚意によるもので厚く感謝の意を表する。福田氏は行商を営みつつ採集される篤志家で、往年の活躍ぶりを思い出すとフロラの探究されていない但馬には氏の今後の探査に期待するところが多い。次に当日採集したシダの目録を記して種々お世話になつた御礼とし、田路のクモノスシダ発見者福田氏に敬意を表したい。

終りに標本の御同定を賜り、クモノスシダの分布その他に御教示を仰いだ田川基二先生に御礼申し上げる。

朝来郡朝来町田路橋ガ谷採集羊齒類目録

フユノハナワラビ、ゼンマイ、ウチワゴケ、ハコネシダ、クヅヤクシダ、イワガネゼンマイ、カラクサシダ、ワラビ、オオバノイノモトソウ、ヌリワラビ、オオヒメワラビ、ミヤマシケシダ、オオヒメワラビモドキ、ヒロハイヌワラビ、シケチシダ、ホシダ、ヤブソテツ、ヤマヤブソテツ、ヒロバヤブソテツ、キヨダキシダ、ヤマイタチシダ、オシダ、オオクヅヤクシダ、ベニシダ、クマワラビ、ミゾシダ、イヌガソク、ゲジゲジシダ、ツルデンダ、イノデ、イノデモドキ、サカゲイノデ、ツヤナシイノデ、ジユウモンヅシダ、リヨウメンシダ、ヒメワラビ、シシガシラ、トラノオシダ、チャセンシダ、イワトラノオ、クモノスシダ、コタニワタリ、ノキシノブ、ヒメノキシノブ、オシヤグジデンダ、アオネカズラ、ビロウドシダ、(Oct. 25, 1954)